



2021年4月14日

各位

会社名 株式会社プロスペクト  
代表者名 代表取締役社長 泉 信彦  
(コード：3528 東証第2部)  
問合せ先 総務部長 竹谷 治郎  
(TEL：03-3470-8411)

### 業績予想に関するお知らせ

2021年2月10日に公表しました「2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期通期の連結業績予想を下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

1. 連結業績予想について (注) 予想数値は概算値です。

(1) 2021年3月期通期業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	10,536	△433	△624	16	0.03
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	6,731	△1,281	△435	237	0.54

(2) 連結業績予想について

2021年3月期末の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、合理的な算定が困難であったことから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報に基づき業績予想を算定いたしましたのでお知らせいたします。なお、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

不動産事業については、当社による分譲マンションの販売、株式会社ササキハウスによる戸建住宅の建築請負やリフォーム工事のほか、2020年9月に連結子会社化した株式会社グローベルスによる戸建住宅の販売や商業用施設の設計・施工など、販売戸数、受注件数ともに堅調でありました。

再生可能エネルギー事業については、2020年3月期から運転を開始したプロスペクト成田神崎太陽光発電所をはじめ、全国7ヵ所の発電所（合計33.84MW（当社持分））で安定した発電が続き、電力会社への電力の販売を行いました。またロシアにおける木質ペレット製造プロジェクトも供給を開始し、ロシア及び韓国等へのスポット販売を行いました。

加えて、2021年2月に新たに設立した株式会社オータスによる有価証券の売買取引も当社グループの収益に貢献しており、グループ全体の売上高は堅調に推移しました。その他、持分法による投資損失を営業外費用に計上するとともに、当社が保有していた有価証券の売却益や、株式会社グローバルス取得に伴う負ののれん発生益を特別利益に計上しました。

以上の結果、2021年3月期通期の売上高は105億36百万円を予想しております。また、利益については、営業損失4億33百万円、経常損失6億24百万円、親会社株主に帰属する当期純利益16百万円の計上を予想しております。

以上